
*
* 昭和 63 年度事業報告書および
*
* 平成元年度事業計画書
*

大阪市中央区難波 2 丁目 3 番 26 号

財団法人 川口交通遺児育英会

昭和63年度 事業報告書

I 事業の状況

1. 育英奨学資金の貸与事業

前事業年度とはほぼ同様の募集方法に拠ったものであるが、採用については、申込のあった者に対し、面接の上条件が合致していれば、すべて奨学生として採用することを基本方針とした。

この結果、大阪府教育委員会、各高等学校、中学校、大阪青年会議所等の協力も得て本年も予算の55%の奨学貸与事業を実施することが出来た。

	1 年 生	2 年 生	3 年 生 (高専の4年生含む)	計
高等学校奨学生 高専の1～4 年生を含む	21	17	14	52
同上貸与金額	3,697,500	3,060,000	2,520,000	9,277,500

なお、次年度の予約奨学生数（平成元年4月より高校に進学し、貸与を開始する予定の申込決定者。） 合計 15名

2. 入学資金の給付事業

入学資金給付事業は20名の給付者を目標として実施し、特に昭和62年度より全額給付を実施したこともあり、12名に給付することができた。

3. 交通遺児に対する補導教育等の事業

(1) 川口財団憩の家の運営

63年7月中旬より8月下旬までの期間、例年どおり川口財団憩の家を交通遺児並びにその保護者に開放して運営を行なった。

2泊3日の利用により、日常家庭的な行事を持つ機会の少ない遺児たちにその十分な機会を提供する目的で実施しているものであるが、レジ

ャー等の多様化に伴ない年々利用者が減少しつつあり、本年度は僅かに利用者は1家族のみであった。なお、この事業の運営並びに遺児の世話については、引続き瀬堂雅夫氏の御協力を得ている。

(2) J C青年の船への参加

社団法人日本青年会議所主催による第18回J C青年の船(昭和63年6月7日から13日間の船旅)に、当財団より下記の奨学生OB3名が参加した。青年としての広い視野と国際性を体得し、且つ楽しい思い出を持つことが出来た。

尚、次年度は日本青年会議所の方針により、ひとまず中止するという事になっている。

第18回 青年の船参加者

(氏 名)	(年令)	(勤 務 先)
羽多野 真 美	23	ダイゴ企画印刷
河 野 正 爾	21	学 生
中 村 公 子	27	中谷公認会計士事務所

以 上

(3) 社会教育事業への参加

昨年度に引き続き、NHK文化センター主催のカルチャー講座を対象に、当財団奨学生OBに受講料の援助を行なったが、PR不足もあり、本年度は2名の参加のみであった。

(氏 名)	(講 師)
清 水 邦 浩	63年4月期 法律・税務の基礎知識
小 林 朱 美	〃 墨 彩 画

Ⅱ 庶務の概要

1. 役員等に関する事項

昭和63年度末現在役員等

役名	氏名	就任年月日	担当業務	手当	現職
理事長	川口正昭	46. 5	法人の代表及び事務の総理	-	神戸大学教授
副理事長	中谷洋一	46. 5	理事長職務の補佐	-	公認会計士
理事	竹谷新	49. 6	特になし	-	帝国女子大教授
〃	桜井良文	49. 6	〃	-	阪大教授
〃	平岡英信	51. 1	〃	-	清風学園校長及仏教大学講師
〃	大津 济	52. 5	〃	-	住友信託銀行(株)顧問
〃	更家悠介	61. 5	〃	-	サラヤ(株)専務取締役
監事	筒井陽太郎	57.11	〃	-	中谷公認会計士事務所総務
〃	別所弘嗣	61. 5	〃	-	住友信託銀行(株) 本店営業推進部長
評議員	高木修二	46. 5	〃	-	阪大教授
〃	竹之内 修	46. 5	〃	-	阪大教授
〃	今永智一郎	46. 5	〃	-	
〃	森本 年	59. 5	〃	-	(社)大阪青年会議所事務局長
〃	谷 武	59. 5	〃	-	中谷公認会計士事務所総務部長
〃	田中善彦	61. 5	〃	-	(株)中善 代表取締役
〃	松村 博	61. 5	〃	-	マツムラ店舗設計室
〃	左藤 章	61. 5	〃	-	
〃	古藤二三夫	61. 5	〃	-	(株)古藤建築事務所取締役副社長
〃	山口一儀	61. 5	〃	-	料亭やまぐち代表者
〃	本田福丸	61. 5	〃	-	(財)大阪交通災害遺族会理事長
〃	八木俊三	61. 5	〃	-	(財)大阪交通災害遺族会事務局長
〃	橋 亮介	61. 5	〃	-	住友信託銀行(株)阪急梅田支店長
〃	岡田義則	61. 5	〃	-	住友信託銀行(株)財務相談課長

2. 職員に関する事項

職務	氏名	就任年月日	担当業務	手当	備考
一般事務	林 由紀子	60. 4. 1	事務処理 全般	月額 50,000 円 賞与 年 2ヶ月	
	古川 ゆかり	63. 1. 1	同上		

(他) 上記の他、前期同様学生アルバイト等を臨時的に依頼した。

3. 会議に関する事項

(1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
昭和 63 年 5 月 20 日	1. 昭和 62 年度事業報告書承認の件 2. 昭和 62 年度収支計算書承認の件	承認 "
平成元年 3 月 27 日	1. 平成元年度収支予算書承認の件 2. 平成元年度事業計画案承認の件	承認 "

(2) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
昭和 63 年 5 月 20 日	1. 昭和 62 年度事業報告書承認の件 2. 昭和 62 年度収支決算書承認の件	承認 "
平成元年 3 月 27 日	1. 平成元年度収支予算書承認の件 2. 平成元年度事業計画案承認の件	承認 "

以 上

収 支 計 算 書

自 昭和 63 年 4 月 1 日
至 平成 元 年 3 月 31 日
(単 位 : 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 収入の部				
1. 基本財産運用収入				
利息収入	10,889,858	11,123,719	△ 233,861	
2. 寄付金収入	0	0	0	
3. 奨学貸与金回収収入	0	2,863,000	△ 2,863,000	
4. 仮受金収入	0	1,000,000	△ 1,000,000	
当期収入合計	10,889,858	14,986,719	△ 4,096,861	
前期繰越収支差額	72,581,138	72,581,138	0	
収入合計	83,470,996	87,567,857	△ 4,096,861	
II 支出の部				
1. 事業費				
(1) 奨学金貸与費	(16,800,000)	(9,277,500)	(7,552,500)	
(2) 入学金貸与費	(2,000,000)	(1,200,000)	(800,000)	
(3) 学生補導費	(100,000)	(0)	(100,000)	
(4) 教育集会費	(500,000)	(30,000)	(470,000)	
(5) 就職斡旋費	(100,000)	(0)	(100,000)	
(6) 憩の家運営費	(1,000,000)	(156,500)	(843,500)	
(7) 青年の船事業費	(2,000,000)	(741,600)	(1,258,400)	
(8) 社会教育費	(1,000,000)	(38,000)	(962,000)	
2. 管理費				
(1) 人件費	(1,100,000)	(740,000)	(360,000)	
(2) 消耗費	(1,100,000)	(393,475)	(706,525)	
消耗品費	100,000	23,935	76,065	
図書印刷費	500,000	108,980	391,020	
通信運搬費	200,000	80,740	119,260	
旅費交通費	100,000	26,020	73,980	
雑費	200,000	153,800	46,200	
(3) 会議費	(250,000)	(120,668)	(129,332)	
役員会費	200,000	120,668	79,332	
その他	50,000	0	50,000	
(4) 一般諸経費	(200,000)	(78,070)	(121,930)	
租税公課	150,000	65,270	84,730	
保険料	50,000	12,800	37,200	
(5) 雑費	(500,000)	(134,580)	(365,420)	
3. 予備費	(200,000)	(0)	(200,000)	
当期支出合計	26,850,000	12,910,393	13,939,607	
当期収支差額	△ 15,960,142	2,076,326	△ 18,036,468	
次期繰越収支差額	56,620,996	74,657,464	△ 18,036,468	

正味財産増減計算書

自 昭和 63 年 4 月 1 日
至 平成 元年 3 月 31 日

(単位:円)

科 目	金 額	
I 増加の部		
1. 資産増加額		
当期収支差額	2,076,326	
奨学貸与額	4,608,750	
基本財産金銭信託増加額	600,000	7,285,076
2. 負債減少額	0	0
増加額合計		7,285,076
II 減少の部		
1. 資産減少額		
奨学貸与金戻入額	}	2,863,000
入学資金貸与金戻入額		
基本財産未収入金減少額	600,000	3,463,000
2. 負債増加額		
仮受金増加額	1,000,000	1,000,000
減少額合計		4,463,000
当期正味財産増加額		2,822,076
前期繰越正味財産額		315,502,086
期末正味財産合計額		318,324,162

貸 借 対 照 表

平成元年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金手許在高	105,489	
預金 (定期預金)		
住友銀行 佐野支店	1,000,000	
(普通預金)		
住友信託銀行 阪急梅田支店	7,401,175	
" 難波支店	2,976,857	
富士銀行 "	36,158	
三和銀行 "	1,928,706	
大和銀行 "	260,886	
住友銀行 "	743,771	
" 佐野支店	264,166	
京都銀行 口大野支店	55,422	
泉州銀行 難波支店	292,069	
(貸付信託)		
住友信託銀行 阪急梅田支店	58,300,000	
(金銭信託)		
住友信託銀行 難波支店	641,195	
振替預金	171,570	
流動資産合計		74,177,464
2. 固定資産		
基本財産		
土地 京都府中郡大宮町字奥大野553-1	249,975	
宅地 367.27㎡ S.46.5.27取得		
同上 553-2		
山林 185㎡	2,219	
同上 554		
山林 42㎡ "	467	
同上 小字平太郎18		
山林 697㎡ "	7,143	
(土地小計)	(259,804)	
建物 京都府中郡大宮町字奥大野531-1		
木造亜鉛メッキ鋼板 居宅		
平家建 49.26㎡		
(建物小計)	(3,575,120)	
未収入金 吉岡幸徳氏	6,015,274	
金銭信託 住友信託銀行 阪急梅田支店	5,154,000	
貸付信託 " "	109,600,000	
" " 難波支店	59,300,000	
" " 難波支店	1,120,000	
基本財産合計	185,024,198	
その他の固定資産		
貸付信託 住友信託銀行 難波支店	480,000	
奨学貸与金	60,162,500	
その他の固定資産合計	60,642,500	
固定資産合計		245,666,698
資産合計		319,844,162

Ⅰ 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
仮受金 瀬 堂 雅 夫 氏	1,520,000		
固定負債合計		1,520,000	
負債合計			1,520,000
Ⅲ 正味財産の部			
正味財産			318,324,162
(うち基本金)			(185,024,198)
(うち当期正味財産増加額)			(2,822,076)
負債及び正味財産合計			319,844,162

財 産 目 録

平成元年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産	74,177,464		
流動資産合計		74,177,464	
2. 固定資産			
(1) 基本財産	185,024,198		
(2) その他の固定資産	60,642,500		
固定資産合計		245,666,698	
資産合計			319,844,162
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	1,520,000		
固定負債合計		1,520,000	
負債合計			1,520,000
正味財産			318,324,162

監 査 報 告 書

昭和 68 年度決算書類等監査の結果、正確にして適法かつ妥当なことを認めます。

平成元年 5 月 10 日

財団法人 川口交通遺児育英会

監 事 別 所 弘 嗣 ㊟

監 事 筒 井 陽 太 郎 ㊟

2. 学生生徒に対する入学資金の貸付・給付

(1) 入学資金の貸付

入学資金の貸付制度は昭和62年3月31日をもって打ち切れ、返還業務のみが継続される。

(2) 学生生徒に対する入学資金の給付

入学資金の給付は、1名100,000円を25名の給付者を目標として実施するが、すでに15名の予約申込者がある。

3. 寄附行為第4条第2号に定める事業

(1) 川口財団憩の家の運営

利用収容計画

時 期 7月中旬～8月下旬までの期間申込希望により

人員数 約10家族（1家族2名 2泊3日とする）

宿泊に要する費用及び交通遺児と保護者1名の旅費は当財団が負担。

天の橋立海水浴場並びに登山における事故負担について財団が免責できるように措置を採る。

運営並びに遺児の世話については、引続き瀬堂雅夫氏の全面的援助協力に依存する。

(2) 青少年キャンプの開催

精神的な面での援助や指導を必要とする生徒・児童を対象とする少年野外キャンプについては本年度も独自の実施は見合わせ、下記のとりの計画で行なわれる財団法人大阪交通災害遺族会のプロジェクトに協賛することとする。

期 日 8月15～18日（4日間）

場 所 小豆島

対 象 者 小学校4年生より高校生までの男女約80名

（当財団の奨学生たる高校生をグループリーダーとする。）

行事内容 ハイキング、キャンプファイヤー等
目 的 野外活動に適応する能力と若干の技術の養成並びに団
 体行動における責任感と協調性を養い、併せて明朗な
 生活態度を身につけるようにする。

(3) 社会教育事業への参加

社会人になっている当財団OB諸子に呼びかけ各種教養講座への受講を奨励し、その諸費用の全額を当財団が負担する。講座は当財団で選択して社会人としてふさわしい教養・技術等を身につけることのお手伝いをするものである。その手はじめとしてNHK文化センター主催のカルチャー講座への入会および受講を推進することとした。

尚、毎年1回案内状を発送し、その後は、継続、新規にかかわらず、自己申告された人に受講料を送金する形をとることとする。

以 上

収 支 予 算 書

自 平成元年4月1日
至 平成2年3月31日

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備 考
I 収入の部				
1. 基本財産運用収入				
利息収入	11,194,586	10,889,858	304,728	
当期収入合計	11,194,586	10,889,858	304,728	
前期繰越収支差額	74,657,464	72,581,138	2,076,326	
収入合計	85,852,050	83,470,996	2,381,054	
II 支出の部				
1. 事業費				
(1) 奨学金貸与費	(18,000,000)	(16,800,000)	(1,200,000)	
(2) 入学金貸与費	(2,500,000)	(2,000,000)	(500,000)	
(3) 学生補導費	(100,000)	(100,000)	(0)	
(4) 教育集会費	(500,000)	(500,000)	(0)	
(5) 就職斡旋費	(100,000)	(100,000)	(0)	
(6) 憩の家運営費	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)	
(7) 青年の船事業費	(300,000)	(2,000,000)	(△1,700,000)	
(8) 社会教育費	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)	
2. 管理費				
(1) 人件費	(1,100,000)	(1,100,000)	(0)	
(2) 消耗費	(1,100,000)	(1,100,000)	(0)	
消耗品費	100,000	100,000	0	
図書印刷費	500,000	500,000	0	
通信運搬費	200,000	200,000	0	
旅費交通費	100,000	100,000	0	
雑費	200,000	200,000	0	
(3) 会議費	(250,000)	(250,000)	(0)	
役員会費	200,000	200,000	0	
その他	50,000	50,000	0	
(4) 一般諸経費	(200,000)	(200,000)	(0)	
租税公課	150,000	150,000	0	
保険料	50,000	50,000	0	
(5) 雑費	(500,000)	(500,000)	(0)	
3. 予備費	(200,000)	(200,000)	(0)	
当期支出合計	26,850,000	26,850,000	0	
当期収支差額	△15,655,414	△15,960,142	304,728	
次期繰越収支差額	59,002,050	56,620,996	2,381,054	